

ラクダミルクパウダー

抗糖尿向け新素材

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、〒003・6262・1511)は、ヒト臨床試験で有効性を確認している抗糖尿向け新素材

「ラクダミルクパウダー」を提案している。近年欧米や中国の富裕層を中心に注目されているラクダミルクは、牛の

ミルクよりも脂肪が少なく、インスリン(40・5μl/ml)やビタミンC(35mg/ml)を豊富に含む一方、主要アレルゲンのβ-ラクトグロブリンを全く含まないため、安全性が高いことも特徴。抗糖尿作用について

は、Ⅰ型糖尿病患者を対象としたヒト臨床試験の論文が8件、Ⅱ型糖尿病患者の論文が3件、動物試験の論文が8件報告されており、インスリン投与量の低下やHbA1cおよび空腹時血糖値の低下、空腹時インスリン濃度の上昇などが確認された。

その作用機序については、①ラクダミルクに含まれるインスリンは胃酸で凝集されにくく、体内に吸収されている可能性があるため、②ラクダミルクのタンパク加水分解物がDPP-4阻害活性を示し、インスリンの分泌を増強するため、③ラクダミルクの抗酸化作用によってインスリンの分泌に関わる膵臓のβ細胞が保護されるため、の3点が考えられている。

同社では、「食後血糖値の上昇抑制」で機能性表示食品として受理されているα-シクロデキストリン【関連記事3画】と組み合わせた「ラクダミルクα-オリゴパウダー」を開発しており、「インスリン分泌の促進」と「糖の吸収抑制」の二つのアプローチで抗糖尿作用を発揮する。